

成長期待企業 の イチオシ!

中小企業支援ネットひょうごは成長性を見込んだ企業を「成長期待企業」として選定し、複合的な支援を実施。頑張る企業が誇る製品を紹介します。

建築現場用工具袋・安全帯

株式会社基陽

現場の声を製品改良に生かす 「じゃばら式安全帯」で ひょうごNo.1ものづくり大賞

7年前に開発した工具袋は取り出し口が斜めに切れ込んでいます。このアイデアは、建築職人が現場で働く様子をつぶさに眺めた結果生まれました。「職人さんは前にかがんで仕事をすることが多い。その時に切れ込みが地面と平行になるように30度の角度を付けました。これで工具が落ちにくくなります」と藤田尊子社長。その後も商品に付けたアンケートはがきなどで寄せられたユーザーの声をもとに、水抜き用の丸穴をメッシュにして釘を落ちにくくするなど、細かな改良を加えてきました。モデルチェンジの早い工具袋で異例のロングセラーとなっています。

金物のまち・三木で金物問屋を営んでいた社長の父が、ある時、皮革や綿を素材にした工具袋について、「濡れると重くなり、乾きにくい」というユーザーの不満



斜めカットの工具袋



ひょうごNo.1ものづくり大賞を受賞した「じゃばら式安全帯」

を聞きつけてきました。そこで、試行錯誤の末、開発したのが、ナイロンにゴムを挟んだ3層構造の特殊生地。ほつれないように生地を重ねる独自の特許取得縫製技術を使って工具袋として商品化し、大きな評判を呼びました。

ただ、建築現場を訪ねるたびに藤田社長の心に大きく引っ掛かるものがありました。「現場の切実な問題は、転落、滑落による重大事故。これを何とか防げないものか」と。こうして安全帯という新たな分野に参入しました。初めはごくシンプルな商品でしたが、「だらりと垂れた紐に引っ掛かる」「重い」といった声を聞き、開発したのが「じゃばら式安全帯」。伸縮性のあるゴムの外側を丈夫なナイロン生地で覆うことで、コンパクトで軽量ながら丈夫な安全帯が完成し、兵庫県が認定する「ひょうごNo.1ものづくり大賞」を受賞しました。これまで培った金属と生地のノウハウを生かし、「今年はカジュアルなバッグで一般の方にも喜んでいただきたい」と意気込んでいます。

◎株式会社基陽の
建築現場用工具袋・安全帯

株式会社基陽／所在地：三木市別所町小林477-10／代表取締役社長：藤田尊子
事業内容：工具袋、安全帯、各種バッグの企画・製造・販売
TEL 0794-82-2304／URL <http://www.kh-kiyo.com/>

編集後記

今号の「成長期待企業のイチオシ」は、刀鍛冶のルーツを持つ三木市の基陽を訪ねました。同社の従業員は女性が約6割を占めています。工具袋、安全帯の開発には、ユーザーの声に耳を傾けることとともに、女性ならではのやわらかい発想が生かされているようです。

JUMP

2014年5月号 平成26年4月30日発行
発行人：榎本輝彦 編集人：深田修司

明日へ飛躍する企業をサポート

ひょうご産業活性化センター通信

発行所 公益財団法人ひょうご産業活性化センター

URL <http://web.hyogo-iic.ne.jp/>

神戸市中央区雲井通5-3-1 サンバル6階

TEL 078-291-8526